



2026年（令和8年）2月17日

報道関係者各位
プレスリリース

秋田県小坂町
青森県田子町

小坂鉱山鉄道鍋—田子本線—

第三弾 青森県田子町へ出発振興！

～田子町自慢のにんにくをスペイン伝統料理のソパ・デ・アホ（にんにくスープ）へ～

秋田県小坂町の「小坂鉱山鉄道鍋普及プロジェクト」は、企画の第三弾として、『小坂鉱山鉄道鍋—田子本線—』を「第19回たっこにんにくまつり」にて限定販売いたします。

本企画は、小坂・鉄道まつり 2025、クリスマスマーケット 2025 in 小坂と、二度のイベントで鉄道鍋を用いた料理提供を行い、いずれも完売の成果を収めたシリーズの第三弾です。

今回は、秋田県小坂町で誕生した「小坂鉱山鉄道鍋」を、青森県田子町へと延伸させる取り組みです。かつて構想段階に存在した小坂—毛馬内—三戸方面への鉄道路線計画という歴史的背景を踏まえ、実現しなかった鉄道を“食と文化”によって現代に開通させることを目的としています。

田子町で開催される「たっこにんにくまつり（2026年2月28日）」にあわせ、田子町の名産であるにんにくを主役に、スペイン北部の鉱山鉄道文化に由来する調理器具「鉄道鍋（オジャ・フェロビタリア）」を用い、スペインの伝統料理「ソパ・デ・アホ（にんにくのスープ）」を提供・販売します。出店も前回同様に、小坂鉄道保存会が行い、地域おこし協力隊が協力し、小坂町が協力隊活動を支援する枠組みに加えて、青森県田子町及び「日本で最も美しい村」連合と連携した取り組みです。



1 企画の背景

鉄道文脈における歴史的関係と「日本で最も美しい村」連合加盟自治体による連携

小坂町は鉱山と鉄道を基軸に発展し、国内外の技術・人材・文化を受け入れてきた“文化のハブ”でした。一方、田子町は農業を中心に地域文化を育んできた町です。

大正末期から昭和初期にかけては、三戸―毛馬内間を結ぶ鉄道敷設構想が存在し、その延長線上に小坂との接続可能性が見込まれていました。計画は実現しなかったものの、両地域は地理的にも文化的にも決して無縁ではなく、交流の可能性を内包した関係にありました。

加えて、現在、秋田県小坂町・青森県田子町の両町はともに「日本で最も美しい村」連合に加盟する自治体です。将来にわたって美しい地域づくりを行い、地域の活性化と自立を住民自らの手で推進するという共通の価値観は、県境を越えて共有されてきた無形の接点であり、本企画はその“美しい村同士のつながり”を可視化する試みでもあります。

2 企画コンセプト

小坂鉱山鉄道鍋 一田子本線一

本企画では、

- * 小坂町の鉱山・鉄道文化と田子町の未成の鉄道文化
 - * 田子町の名産であるにんにく文化
 - * スペイン鉱山鉄道に由来する鉄道鍋文化
- という三層の文化を一つの鍋に重ね合わせます。

両町が、かつて結ばれるはずだった路線を、現代において「食」という形で再編集し、未来へ向けた象徴的な“出発振興”を表現します。

田子―毛馬内―小坂を結ぶ鉄道計画は、単なる空想や幻の路線ではなく、当時の小坂町や田子町の産業構造や社会的要請に基づき、地域の人々が現実的に構想した交通インフラでした。鉱山資源・資材や農林産物の流通改善、人の移動の円滑化、広域的な地域連携を目指すその構想は、結果として実現には至らなかったものの、地域が未来を切り拓こうとした確かな意思の痕跡です。

実現しなかった鉄道計画は、失われた夢ではありません。むしろ、それは時代の制約によって中断された「可能性」であり、いまなお語り直される価値を持つ地域の記憶です。

本企画「小坂鉱山鉄道鍋一田子本線一」は、この未成線として終わった構想を単なる過去の出来事として扱うのではなく、歴史を掘り起こし、現在の文化や食を媒介として再編集し、未来へと接続するための一つの実践です。

地方都市や小さな町が広域的に連携し、それぞれの歴史や資源を持ち寄りながら新たな試みを重ねていくこと。その先に、新しい関係性や価値の流通が生まれる道があると、私たちは考えています。

■ “鉄道鍋” とは？

スペイン北部・La Robla（ラ・ロブラ）鉄道沿線にゆかりの伝統の調理器具です。蒸気機関士や車掌が長距離の石炭輸送の途中、車上で温かい食事を作ったことに由来します。

小坂町は、鉱山鉄道を擁した歴史を持つ地域として、この欧州鉱山文化と自らの鉄道遺産を重ね合わせ、2025年、日本で初めて鉄道鍋を活用した町となりました。

■ ソパ・デ・アホ（Sopa de Ajo）とは？

スペインの伝統的なにんにくのスープ。ソパ・デ・アホは、農民や労働者の食事として受け継がれてきた素朴で力強い料理です。現在でも、スペイン各地のレストランで提供され、地元の人々はもちろん、観光客にも親しまれています。素朴ながら、奥行きのある味わいが印象的な一品です。

3 出店概要

- (1) 会場 第19回たっこにんにくまつり
田子農業者トレーニングセンター
(青森県田子町大字田子字柏木田169 ※田子町中央公民館隣り)
- (2) 日時 2026年2月28日（土）
10時～14時 ※なくなり次第終了
- (3) 内容 秋田県小坂町・青森県田子町「日本で最も美しい村」連合加盟自治体連携企画
小坂鉱山鉄道鍋－田子本線－
(鉄道鍋によるスペイン料理ソパ・デ・アホ（にんにくスープ）の提供販売)
- (4) 提供価格 一杯200円
- (5) 鉄道鍋関連および田子本線構想を紹介する簡易展示
 - ①小坂町－田子町間の鉄道敷設構想資料、ソパ・デ・アホ簡易レシピ
 - ②鉄道鍋の説明パネル
 - ③La Robla 鉄道の説明パネル

4 収益について

販売収益の一部は小坂鉄道保存会の活動資金として活用され、鉄道遺産の保護・活用に役立てられます。

5 参考資料

- 鉄道鍋とは
- ラ・ロブラ鉄道とは
- 自三戸駅至毛馬内駅鉄道速成陳情書（三戸町長松尾節三外）（抜粋）
※CC0 国立公文書館所蔵資料
- 企画用パネル
- たっこにんにくまつりチラシ

問い合わせ先

- 小坂鉦山鉄道鍋-田子本線-に関すること
秋田県小坂町役場 観光産業課観光商工班
担当 地域おこし協力隊（明治百年プロデューサー）田代
TEL 0186-29-3908
Mail kankou@town.kosaka.akita.jp

青森県田子町役場 政策推進課
担当 工藤
TEL 0179-20-7127

- たっこにんにくまつりに関すること
青森県田子町役場 商工振興課
TEL 0179-32-3111

小坂町の鉦山文化を鍋っこで温めるーそして田子町へー



鉦山の歴史や地域文化を「体験を通じた学び」として提供

鉦山鉄道や食文化を活かしたイベントにより、地域経済の新しい活力を創出

社会福祉法人等との連携により、地域社会における公平な参加機会を創出

鉦山鉄道や労働者の記憶を「文化遺産」として再解釈し、保存と活用を両立

鉄道鍋の普及を通じ、地域食材の適切な利用や持続可能なイベントの運営

地域おこし協力隊による多主体協働のモデルケースの構築